



赤磐

令和3年12月議会 第68号

市議会だより



スマートフォンでも
議会中継が見えます

右のQRコードをスマートフォン等で読み取るとページにアクセスできます。



(議会中継)



(会議録)



(市議会だより)

| | |
|-------------|-----|
| 12月定例会のあらまし | 2P |
| 委員会のうごき | 7P |
| 16人の議員が一般質問 | 11P |

市議会の会議録、市議会だよりがインターネットでも閲覧できます。ご利用ください。

アドレス <https://www.city.akaiwa.lg.jp/shisei/gikai/index.html>

赤磐市議会

検索

令和3年度補正予算（一般会計・特別会計・事業会計）を可決

主な内容（歳出）

一般会計（3億9347万円増額）（第7号）

- ・子育て世帯臨時特別給付金（3億9000万円）等

一般会計（2億4451万円増額）（第8号）

- ・新型コロナウイルスワクチン接種委託料（1億3231万円）等

一般会計（8億8631万円増額）（第9号）

- ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金（4億8000万円）
- ・子育て世帯臨時特別給付金（3億9000万円）等

介護保険特別会計（1686万円減額）（第2号）

下水道事業会計（969万円増額）（第1号）

12月定例会の
あらまし

議案審議

12月定例会を11月26日から12月23日まで28日間の会期で開催した。議案22件を可決、請願1件を採択、請願1件を不採択とした。また、委員会発議の議案1件を可決とした。

本会議での
主な質疑

一般会計（第7号）

問 子育て世帯臨時特別給付金の対象者は、所得制限がかかった上で7800人になったのか。

答 国からは児童手当に合わせた所得制限という通知がきている。現在の児童手当の受給者が約6000人。公務員の児童、高校生等を算定し、7800人とした。

問 18歳の基準日はいつか。16歳で親元から離れて仕事をしている人に対しての支給はどうなるのか。

答 対象者は、現高校3年生までとなっている。中学校を卒業して就職している人も対

象になる。

新生児も令和4年3月31日生まれまでが対象。

問 16歳で社会に出ている人は、行政にあまりなじみがなく、制度を知らないまま過ぎてしまうことも考えられる。受給資格があることを、どんな手段で伝えるのか。また、いつぐらいまでに支給するめどか。

答 中学生までは児童手当の支給で分かっているので12月中には給付できるように準備している。高校生等については、皆が申請できるように方法で通知を出して、申請の後、速やかに給付する。また、広報やホームページ等でも知らせていきたい。

財産の取得について可決

中央学校給食センターの食器洗浄機システムの更新

本会議での
主な質疑

問 入札方法について説明を。

答 物品購入は予定価格が1000万円以上の業務の場合、一般競争入札条件付きとしている。今回の主な条件は、入札参加資格者名簿に種目で一般機械器具、営業品目で業務用厨房機器、食器で登録されていること。市内業者、県内業者、それから準県内業者であること。市内業者については履行実績を問わず、市外業者については国、県または市区町村から発注された業務用コンベア式食器類洗浄機の販売業務の履行実績を有していること等である。

吉井きのご館の指定管理者の指定について可決

問 現在の役割、現状、利用者の状況について説明を。
答 農林産物の有効利用を促進し、地域住民の福祉向上を図ることを目的として設置されている。農林産加工品の製造、しめじの集出荷作業などに活用されており、昨年度は延べ約600人の利用があった。
問 利用者600人とはどういうことか。
答 暮田区を中心に農林産物の加工・集出荷の作業をした人が延べ600人ということである。
問 マツタケは地域で採れたものを持ち込んで販売しているのか。
答 マツタケは区でまとめて集出荷する場合などに使われている。

本会議での主な質疑

岡山市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び岡山市町村総合事務組合の規約の変更について可決

問 制度がどのように変わるのか。また、市の負担が増える内容なのか。
答 地方公務員等共済組合法の改正により、令和4年10月1日から、非常勤職員が正規の職員と同じところに入加するようになる。福利厚生等の増進に関する事務も、適用対象とするために規約を変更するもので、主な変更としては、成人病検診の補助など適用範囲を拡大する。
 適用対象者の給与総額の1000分の2を市が負担するので、市の負担は増える。

本会議での主な質疑

赤磐市吉井ライスセンターの指定管理者の指定について可決

問 指定の期間が3年間となっている理由は。
答 赤磐市指定管理者制度運用の手引で、公募で指定管理料なしの場合、指定期間は3年もしくは5年となっているためである。
問 これまでの経過もひっくり返して、検討したのか。
答 令和3年は非公募で行っていたが、地域から運営状態が良くないと耳にし、市が直接会計状況、支出状況等全体をチェックした。その結果、不適切な部分が見当たらなかったため、この団体が指定管理を行うに不適合とはいえないと判断した。3年間の指定管理をする以上、改善のため、公費の出入りを明確にし、光熱水費は市が直接支払い、指定管理料を無料とした。今後も、この協議会が指定管理をするにふさわしいかのチェック

本会議での主な質疑

クを継続的にしながら、運営を継続していく。
問 経営状況について報告を。
答 令和3年産の米の処理は、28戸の農家で面積は8・7ヘクタール、もみの量は約63トンと報告を受けている。
問 ライスセンターが買った機材が、個人の使用になっていると聞いたが。
答 この運営協議会の事業については、赤磐市が事業として行ったものではないので、言及できない。我々行政としては、この団体に強要はできないが、注意はできるかと思う。
問 市長に告訴された人が権限を振って良いのか。
答 刑事告訴については、この事案とは異なるが、そういう人物が関わっているということは無視できないと思う。

旧赤磐市消防本部庁舎改修工事請負契約の締結について可決

問 常設として経常的に旧消防本部が庁舎の一部として機能していくための工事なのか、仮庁舎のための工事なのか。
答 現在の本庁舎が狭くなっているため、今後も継続して使用するものとして長寿命化等を図って工事を進める。
問 ソーラーの設置は考えていないのか。
答 ソーラーの設置は考えていないが、慎重に協議をしていきたい。
問 ソーラーの設置となると国から補助金が出る。国の補助制度を見て検討するべきと思うが。
答 市のほうも率先して掲げているテーマだ。国も補助金で動きがある。本庁舎改修に関しては構造上の問題等があるので、検討を進めていく必要がある。対応が可能であれば、十分精査する。

本会議での主な質疑

12月定例会のあらまし

委員会のいきり

いっぽん質問

その他協議会等

討論

議第53号 赤磐市個人情報保護条例の一部を改正する条例

【反対討論】

(1人)

▽デジタル化の大前提は、政治の透明性と説明責任を果たせる政府が個人情報情報を適切に管理し、安心・安全を求める国民に信頼されることだ。デジタル庁は、内閣総理大臣がトップに座り、勧告権を持つなどこれまでにない強力な権限を持った組織だ。

個人情報保護条例は、本人以外からの情報収集、目的外利用を原則禁止している。今必要なことは、個人情報やプライバシーを保護するための条例や法整備の強化だ。よって、国会で決まったことであるが、議案に反対する。

議第66号 令和3年度赤磐市一般会計補正予算(第8回)

【反対討論】

(1人)

▽国庫支出金の返還金の中に、学童クラブの返還金240万円がある。1クラブ当たりいくらかと内訳を尋ねたが答弁はない。答弁ができない予算議案は認められない。

桜が丘にできる新設の2つの学童クラブへの施設改築補助金2451万円がある。同じ敷地に2棟、3世代同居を想定した立派な家だ。ここを何で改築するのか、何で塗装するのか分からない。そこまでの費用を何で市が負担するのか。従前の20年、30年

頑張ってきているクラブに対する配慮がない。よって、議案に反対する。

議第71号 旧赤磐市消防本部庁舎改修工事請負契約の締結について

【反対討論】

(1人)

▽旧消防本部庁舎を使用して庁舎を分散することは、市民の利便性に欠け、後世に最悪の結果を残す。旧庁舎は、建設当時に海砂を使用しており、耐用年数を考えれば改修には想定外のが起きる可能性が高い。耐震補強には反対しないが、補強すれば使えるのであれば、なぜ新しい消防本部庁舎を何十億円もかけて建て替える必要があったのか、市民が納得する説明責任を果たすべき。

東京オリンピック後に建設資材が高騰している。適正な価格で工事が行えるか危惧している。庁舎改修を20億円で行うと公言しているが、全体計画の詳細は議会に報告されていない。よって、議案に反対する。

請願

請願第5号 小規模企業・中小企業振興条例の制定を求める請願

【採択】

【要旨】

小規模企業・中小企業は激動する社会・経済情勢の中にあって地域経済等の発展に欠くことのできない存在である。

市内の小規模企業・中小企業の持続的発展を通じて、赤磐市の発展ならびに市民生活の向上を実現することを目的とした条例の制定を求める。

【賛成討論】

(1人)

▽中小企業基本法は平成11年に改正され、地方公共団体の責務が明記された。役割が制定されてから20年以上が経過している。この条例制定により、人口減少、海外との競争激化、さらに新型コロナウイルス感染症拡大など激動する社会経済情勢の中にあっても、地域経済を発展させる上で欠くことができない、国と自治体が長期的視野をもって、中小企業がその力を存分に発揮できる環境を整えるきっかけとなる。

コロナの自粛を契機に廃業や倒産が相次いでいる現在、赤磐市を持続可能なまちにするために地域に根ざした企業はかけがえない。よって、請願に賛成する。

請願第6号 新型コロナウイルス禍による米危機の改善を求める請願

【不採択】

【要旨】

コロナ禍により米の需要減少に歯止めが掛からず、2020年産米の販売不振と米価下落は底なしの状況になっている。このままでは、2021年産米の大暴落はもとより、3年連続の米価暴落になる。

国が「過剰在庫」を市場から隔離し、米価下落に歯止めを掛けること、生活困窮者・学生などへの食糧支援制度を創設すること、外国産米の輸入抑制を實行すること、についての意見書を政府関係に提出することを求める。

【賛成討論】

(3人)

▽2年連続の米価下落が全国の米農家を経営危機に陥れている。多くの銘柄が1万円を下回っており、農家を深刻な状況に追い込んでいく。岡山県下でも9月議会で議論されたところが多く、米価下落に伴う支援を市町村独自で8自治体が補助の予定だ。

生産の現場では、高齢化、後継者不足などでいつ生産をやめてもおかしくない状況が続いている。大規模法人でも経営は続けられなくなる水準だ。

請願内容は、全体として米価格の下落危機を乗り越える対策だ。農家を苦しめる政策が続けば日本は必ず飢餓に陥ると、東京大学大学院の教授が言われている。よって、請願に賛成する。

▽請願の趣旨の1点目は、市場価格を少しでも下げないために、政府が米を買い上げざることを求めるもので、地域の民意が国を動かすため当然の要望だ。2点目は、食糧支援制度を利用して国際的にも協力すべきというもので当然。3点目は、ガット・ウルグアイ・ラウンド協定により日本は押しつけられているミニマムアクセス米がある。こういう事態だからこそ食料安全保障の観点から国内農業を守る政策として交渉に入る必要がある。よって、請願に賛成する。

▽政府もコロナ禍の2年間で、在庫の積み増しがあり価格の暴落を予想し、36万トンを上乗せして減反を米農家に課した。減反は達成されたが、大暴落は止められなかった。コロナは外食産業での米の消費量を大きく減少させた。過剰在庫は、国が責任を持って買い上げなければ市場に出回り、さらなる価格低下のスパイラルになる。

日本には、アメリカのような政府がフードバンク

に食品を提供し、この機関が困窮している人や学生に提供する制度がない。現在の体制では過剰在庫は生活困窮者には届かない。

ミニマムアクセス米は主として外食産業で消費されている。外食用の米消費が減少している現在、輸入量を減らすことは理屈が通っている。よって、請願に賛成する。

発議

発議第13号 赤磐市議会会議規則の一部改正について 【可決】

【要旨】

議会ICT推進委員会を新たに協議等の場として設置するため、赤磐市議会会議規則の一部を改正する。別表(第166条関係)に「名称は議会ICT推進委員会、目的は議会のICT推進に関する協議等、構成員は議会ICT推進委員、招集権者は議会ICT推進委員長」を加える。

この規則は、令和3年12月23日から施行する。

【反対討論】

(1人)

▽これからタブレットを活用してこうというこの段階で、この委員会の名称にタブレットのタの字もないこと自身、理解できない。タブレットの活用で十分この通信技術を使った議会運営はできる。今回のこのICT推進委員会の用語に反対である。よって、反対する。

議会ICT推進委員会を設置

議会のICT推進に関する協議等を行うため、会議規則の一部を改正し、新たに議会ICT推進委員会を協議等の場として設置しました。

また、議会ICT推進委員会設置に伴い、議会ICT推進委員会要綱の制定を行いました。

議会ICT推進委員 (5名)

| | | |
|------|----|----|
| 委員長 | 光成 | 良充 |
| 副委員長 | 治徳 | 義明 |
| 委員 | 松田 | 勲 |
| 委員 | 永徳 | 省二 |
| 委員 | 牛尾 | 直人 |

ICTとは?

- I ... Information (情報)
- C ... Communication (通信)
- T ... Technology (技術)

通信技術を使って人とインターネット、人と人がつながる技術のこと。

令和3年12月第6回赤磐市議会定例会審議結果

| 議案番号 | 案 件 | 議決結果 | 牛尾直人 | 鼻岡美保 | 安藤利博 | 永徳省二 | 大森進次 | 佐藤 武 | 佐々木雄司 | 光成良充 | 保田 守 | 大口浩志 | 治徳義明 | 原田素代 | 金谷文則 | 松田 勲 | 福木京子 | 佐藤武文 | 下山哲司 | 実盛祥五 | |
|-----------|---------------------------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|
| 議 第 5 3 号 | 赤磐市個人情報保護条例の一部を改正する条例 | 可決 | ○● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ |
| 議 第 6 6 号 | 令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第8号） | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議 第 7 1 号 | 旧赤磐市消防本部庁舎改修工事請負契約の締結について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 請 願 第 6 号 | 新型コロナウイルス禍による米危機の改善を求める請願 | 不採択 | ● | ○ | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 発議第13号 | 赤磐市議会会議規則の一部改正について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

○=賛成 ●=不賛成

※実盛祥五議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。

※下記に記載する議案については、全会一致で可決しています。

| 議案番号 | 案 件 | 議決結果 |
|-----------|--|------|
| 議 第 5 1 号 | 令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第7号） | 可決 |
| 議 第 5 2 号 | 財産の取得について | 可決 |
| 議 第 5 4 号 | 岡山県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び岡山県市町村総合事務組合の規約の変更について | 可決 |
| 議 第 5 5 号 | 地域活動支援センターさんようの指定管理者の指定について | 可決 |
| 議 第 5 6 号 | 赤磐市山陽高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について | 可決 |
| 議 第 5 7 号 | 赤磐市吉井地区高齢者福祉施設（つつじ荘・あかまつ荘）の指定管理者の指定について | 可決 |
| 議 第 5 8 号 | アグリ指定管理者の指定について | 可決 |
| 議 第 5 9 号 | 赤磐市吉井高原・是里森林公園の指定管理者の指定について | 可決 |
| 議 第 6 0 号 | 吉井特産館の指定管理者の指定について | 可決 |
| 議 第 6 1 号 | 周匝下請共同作業所の指定管理者の指定について | 可決 |

| 議案番号 | 案 件 | 議決結果 |
|-----------|------------------------------|------|
| 議 第 6 2 号 | 仁堀下請共同作業所の指定管理者の指定について | 可決 |
| 議 第 6 3 号 | 吉井きこの館の指定管理者の指定について | 可決 |
| 議 第 6 4 号 | 赤磐市吉井ライスセンターの指定管理者の指定について | 可決 |
| 議 第 6 5 号 | 吉井加工直売施設の指定管理者の指定について | 可決 |
| 議 第 6 7 号 | 令和3年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第3号） | 可決 |
| 議 第 6 8 号 | 令和3年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） | 可決 |
| 議 第 6 9 号 | 令和3年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第2号） | 可決 |
| 議 第 7 0 号 | 令和3年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第1号） | 可決 |
| 議 第 7 2 号 | 令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第9号） | 可決 |
| 請 願 第 5 号 | 小規模企業・中小企業振興条例の制定を求める請願 | 採択 |

※この日程は予定です。日程は、2月17日開催の議会運営委員会で決定します。

- 2月24日（木）議案上程
- 2月25日（金）議案上程
- 2月28日（月）一般質問
- 3月1日（火）一般質問
- 3月2日（水）一般質問
- 3月4日（金）質疑・委員会付託
- 3月8日（火）総務常任委員会
- 3月9日（水）厚生文教常任委員会
- 3月10日（木）産業建設常任委員会
- 3月14日（月）予算審査特別委員会
- 3月15日（火）予算審査特別委員会
- 3月17日（木）予算審査特別委員会
- 3月23日（水）最終日（委員長報告・質疑・討論・採決）



予算審査特別委員会

12月17日に議長を除く17人の議員で構成する予算審査特別委員会を開催し、議案1件について審査した。

総務分科会

(12月9日)

防災マップ作成事業に550万円繰り越し

本委員会に付託された議第66号令和3年度赤磐市一般会計補正予算(第8号)は、総務分科会、厚生文教分科会および産業建設分科会に分担して審査し、各分科会の委員長から報告を受け、報告に対して質疑を行った。質疑終了後、採決が行われ、賛成多数で可決した。

産業建設分科会

(12月8日)

議案1件について、質疑はなかった。

厚生文教分科会

(12月10日)

コミュニティ助成事業助成金に150万円増額

一部区域で県の土砂災害警戒区域の指定公示が令和4年3月中に行われる見込みとなり、市民へ配布する冊子の完成が翌年度となるための繰り越し

問 防災マップ作成事業について、市民に配って終わりだともったいないが、何回も手にとってもらえる仕掛けはあるのか。

答 地域に向いて防災講座を行うとともに、各町内会での訓練や講座等で積極的に活用してもらおう。

問 コロナ禍で対面しての行事が難しい中、配布

する防災マップ自体に仕掛けは考えないのか。
答 提案についてはこれから考えていく。

問 市内全地区から追加要望の意向確認を行ったのか。追加要望を受けた地区で採択されなかった地区はあるのか。
答 各区长、町内会長に令和4年度に向けての募集と今回の追加募集の文

書を送付し、意向を確認した。今回は河本地区のみの応募で採択された。
問 採択される基準について説明を。
答 助成金額は、10万円単位で100万円から250万円までで、コミュニティ活動に直接必要な設備に要する経費が対象である。ただし、基礎のある建物や消耗品に係る経費は対象外である。

放課後児童クラブ新設事業に2451万円増額

令和4年度の放課後児童クラブ新設に伴う施設改築に係る補助金

問 放課後児童クラブ補助金2451万円について、財源の国、県、市の補助金の内訳は。
答 国、県、市が各3分の1負担するので、それぞれ817万円である。

問 この金額は2クラブを新設することに対しての金額なのか。
答 新設の場合1クラブ当たり建物の改修等に上

限1200万円の補助があり、2クラブ合計で2400万円。令和4年4月から開所予定のため、3月分の家賃が補助対象となり、2クラブ合計で51万円を計上している。



新設される放課後児童クラブ

問 大変大きな金額で、現状のクラブと比較すると考えられない。正確な積算をしているのか。
答 適切に積算した金額で、内訳は建物の増改築、塗装等に約1000万円、防犯カメラや火災報知器等に約50万円、他にエアコン、冷蔵庫、掃除機、本棚等の見積もりが上限額を超えるので、補助上限額1200万円を予算計上している。

問 学級増に伴う教員の配置は県費、市費どちらか。
答 教員の配置費用は、県費での対応になる。
問 特別支援学級の教員は、それなりの資格、経験を持った教員が入るのが本来だと思うが、どのようになっているのか。
答 特別支援学級に配属する教員は、特別支援教育の免許を持っているのが原則だが、全員が持っているわけではない。そのため、経験値が高い教員ならびにこれから免許を取得する教員を配置している状況である。

小・中学校の学級増対応事業に3562万円増額

令和4年度に学級増が見込まれる小学校5校7教室、中学校2校3教室とそれに伴う学校LAN整備に係る経費

総務 常任委員会

12月9日に総務常任委員会を行った。
議案2件について審査した。

条例の 一部改正

赤磐市個人情報 保護条例

問 管理主体が総務大臣から内閣総理大臣に変わった理由は。

答 デジタル庁設置法の制定により、システムの管理主体が内閣府に変更になったため。

問 管理主体の変更による心配はないのか。

答 今回の改正で個人情報保護法の所管が変わった訳ではなく、総務省のままなので心配はない。

岡山県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び岡山県市町村総合事務組合の規約の変更について

※岡山県市町村総合事務組合とは、県内全市町村と一部事務組合等の福利厚生などの事務を共同処理している組合

問 改正されると対象者が何人増えるのか。

答 約250人増える。

問 個人負担、市の負担はどうなるのか。

答 成人病検診の費用補助等の制度拡大で、市の負担のみ増える。



岡山県市町村総合事務組合(市町村振興センター内4F)

厚生文教常任委員会 視察

厚生文教常任委員会は11月11日に市の施設3カ所の視察を行った。

① 赤磐市中央学校給食センター

センター長より、令和2年8月から調理業務等の一部民間委託した後のセンターの現状と、老朽化に伴う施設内機器の更新について説明を受けた。衛生面についてはマニュアルのつとって徹底を図っていること、今年度は食器洗浄機の更新を行い、順次他の機器も更新の時期を迎えることを確認した。

② 赤磐市環境センター

所長より、ごみの分別や収集、リサイクルプラザの現状について説明を受けた。ごみは23種分別を行い排出量の削減に努めており、昨年度と今年度の比較で450トン以上、ごみの排出量を削減できているとのこと。また、リサイクルプラザでは、提供を受けたリユース品を修理・再生し必要とする方へ譲渡する等、ごみの減量化、リサイクルの意識の醸成に取り組んでいる。



所長によるごみ分別について説明(赤磐市環境センターにて)

③ 赤磐市国民健康保険 佐伯北診療所

市担当職員より、MRI機器導入に伴う増築工事の進捗状況について説明を受けた。工事はスケジュール通り進んでいて、年度内に完成し機器の搬入を終える予定とのこと。MRI機器は磁気が発生する機器であるため他に影響がないよう慎重に工事を進めていただくよう要望を行った。

厚生文教 常任委員会

12月10日に厚生文教常任委員会を行った。
議案7件について審査した。

財産の取得

中央学校給食センターの食器洗浄機システムの更新

問 委託業者の意向は選定に生かされているのか。

答 機器の選定は委託業者とも調整している。

指定管理者の指定

地域活動支援センターさんよう

問 コロナもあり、いろいろと厳しい状況にあると思うが、この障害者施設の経営状況は安定しているのか。

答 障害者給付サービスの事業所として県の認可を受け、給付費が払われている。それにより安定

した経営ができて、指定管理料も不要になっている。事業報告等を受け、特段経営に困っているという事情は聞いていない。

問 指定管理期間が5年間になっているが、5年間にした理由は。

答 今回3期目で、これまで安定した経営をしていて、その実績に基づいて今回も指定期間を5年としている。

問 仕事内容に変更はないのか。また、現在何人か。

答 変更はなく2種類のサービスを提供している。人数は就労継続支援B型が10人、生活介護が9人である。

山陽高齢者生きがいセンター

問 場所、事業について説明を。

答 山陽総合福祉センターに隣接していて、事業内容は木工等で生きがい作りをすることで活動している。また、会員数は17人である。



山陽高齢者生きがいセンター

問 誰でも利用できるのか、会員制なのか。また、山陽地区限定なのか。

答 会員になる必要はあるが、特定の人に限定した目的の施設ではないので、申し出れば市民は誰でも利用できる。

問 指定管理料は具体的に何に使われるのか。

答 小修繕、保険関係、消耗品費である。



吉井地区高齢者福祉施設（あかまつ荘）

吉井地区高齢者福祉施設（あかまつ荘）

問 長い間利用している人と新規利用者の割合はどういう状況なのか。

答 入所者の身体状況により、他の系列施設に移るなど一体的に運営をしているので、一概に長い、短いということはいえない。

問 待機者はいるのか。

答 現在、待機者がいるとは聞いていない。

補正予算

国民健康保険特別会計（第3号）

問 臨時交付金繰入金120万円と、諸支出金の国庫支出金等返還金1081万円について説明を。

答 臨時交付金は、コロナウイルスの影響により減免した国民健康保険税200万円のうち、6割に当たる部分がこの臨時交付金が使えるため計上している。国庫支出金等返還金は令和2年度の保険給付、特別調整交付金の精算により発生したものである。

産業建設 常任委員会

12月8日に産業建設常任委員会を行った。
議案11件及び請願2件について審査をした。

指定管理者の 指定

アグリ

問 アグリ土地や施設の状況や経緯は。

答 土地は、市が一部と県の所有である。県が簡易トイレを整備し、旧赤坂町が施設を整備した。現在は、指定管理として商工会に維持管理をお願いしている。

問 指定管理料の積算根拠および使用に対する精査は。

答 指定管理料は浄化槽維持管理費、光熱水費、消耗品等である。また、監査人による監査ならびに市も収支決算書の報告を受けている。

問 アグリの中に家賃を取っている建物があるが、家賃を取ることに問題はないのか。

答 3者が入店している。指定管理者である商工会の構成員として、指定管理業務の一端を担う位置付けであり、第三者へのまた貸しの認識はない。

問 違法建築の建物を使っているのではないのか。

答 指摘の商工会所有の建物は、当時は建築基準法上、延べ床面積100平方メートル未満の特殊建物であったため確認が不要であった。商工会が工事届を提出して受理されている。

問 飲食店として活用しているが、資料館として使う目的ではなかったのか。

答 使用方法は商工会が判断している。資料館というイメージではないが、施設の随所に資料やパンフレット等を置いて情報発信を行っている。



赤磐特産館アグリ

問 指定管理料がなくなった理由は。

答 施設の老朽化が進み維持管理の負担が増えていく。指定管理料を支払わない代わりに、施設の維持、点検等は市が直接負担していく方針である。

吉井ライスセンター

問 指定管理料がなくなった理由は。

答 施設の老朽化が進み維持管理の負担が増えていく。指定管理料を支払わない代わりに、施設の維持、点検等は市が直接負担していく方針である。



吉井ライスセンター

問 過去の経理について不審な点はなかったのか。

答 本年6月までに、運営委員会の会計について帳簿確認や聞き取り等を行い、施設運営を適切に行っていることの確認ができています。

請願第5号 小規模企業・中小企業振興条例の制定を求める請願について

各委員より意見が出されたのち、採決し、採択した。

主な意見

・ 中小企業の持続的発展を通じて、赤磐市の発展ならびに市民生活の向上

の実現を目的としている条例は必要であるため賛成である。
・ コロナ禍で中小企業は厳しい状況にある。また、全国的には災害等で中小企業が厳しい状況に陥るケースも多々ある。条例制定により、中小企業振興の目的や方針を明確にするのと、地域の状況に応じた効果的な経済対策を行うことができるため賛成である。

請願第6号 新型コロナウイルス禍による米危機の改善を求める請願について

各委員より意見が出されたのち、採決し、否決した。

主な意見

・ 緊急買入れ等の策が必要である。また、困窮している人へ過剰米を提示している人へ過剰米を提示する制度が必要である。外食米の消費が減少している中、ミニマムアクセス米の調整が必要なので賛成である。

・ 米の価格下落は大きな問題であるが、国も対策を行っている。そして、新たな対策を施そうともしている。また、赤磐市のやるべきことは、より隅々まで届く強い農業政策に努めることである。この請願に頼るべきものではないので反対である。
・ 国は、子ども食堂等、既に食材提供の支援は行っている。コロナ禍の中、生活困窮者等への支援は重要な課題であるが、米の提供だけでなくコロナ対策の中で総合的に支援を行うべきである。また、国はミニマムアクセス米から農家を守るために活用方法に制限を掛けている。そして、国際間の合意で決めたミニマムアクセス米の削減や停止は、国際問題になり、米以外のものに大きな悪影響を与える。これらの理由から反対である。
・ いまだ米価について提示がない状況の中で、いろいろなことを決めつけていることが理解できないため反対である。

一般質問

市の考えを問う

16人の議員が登壇し市の考えをたどしました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。



12月定例会のあいま

議員会がいっしょ

いっぽん質問

その他協議会等

問 市の墓地事業はどのように考えていくのか

答 財政状況、ニーズを踏まえ時代に即した手法を考えていく

個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。



光成良充議員

を感じるであった。従来のお墓の概念に変化があり、合同葬、樹木葬、納骨堂、散骨などの記述もあり、今後のお墓の在り方を市が考えていく上で貴重な成果が得られたと認識している。

問 桜が丘西10丁目・神田地区に隣接する墓地事業用地の現状と今後の利活用はどう考えるのか。

答 平成10年に取得したこの土地は現在山林の状態、今後の利活用は墓地事業用地として関係法令の認可を受け取得した土地であるため、現時点ではコメントできない。

問 墓地事業は喫緊の課題、動向を注視し継続的に検討していく課題のどちらに位置するのか。

答 動向を注視し継続的に検討していく課題と考えている。



夜間中学校（岡山市自主夜間中学校）

問 夜間中学校についてどのような見解であるか。

答 義務教育を修了しないで学齢期を経過、不登校など様々な事情で十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した方、外国人などに学び直しの場として期待されていると認識している。

問 夜間中学校設置を望む声、ニーズはあると考えるか。

答 県の調査では一定数のニーズはありと確認している。教育委員会としてもニーズの把握、支援や取り組み等について研究していく。

表紙のひとこと

赤磐市立山陽小学校は、令和3年度に創立50周年を迎えました。表紙写真は、令和3年11月21日（日）に開催された創立50周年記念式典で、6年生が統合前の「高月小学校」「高陽小学校」「西山小学校」の校歌をメドレーで歌っている様子です。また、舞台後方には、統合前の3小学校の校旗も掲げられています。

問 行財政改革のため、敬老会助成金の再検討を

答 地域の方々と協議しながら、より良い改革を進める

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



安藤利博議員

いて研修を深める。
敬老会助成金について

問 町内会長に対象者名簿を渡しているのは、各人に配れとっていること。毎年8000人に、2000円を配る必要性はあるか。

答 敬老会事業を行っている地区もある。地域と協議し、改革を進める。

問 助成金は80歳だけにし、限られた財源の再配分を検討できないか。1600万円あれば、例えば300人の誕生日、400人の入学祝い、各2万円を支給できる。

答 限られた財源の有効活用は重要と考える。制度の見直しは、関係機関の意見を聴取し検討する。

高齢者の移動手段確保



赤磐市民バス

問 今求められているのはマイカーを手放した移動手段のない高齢者を、ドア・ツー・ドアで目的地まで送ること。これには定路線、定時刻のバスでは対応できない。ボランティアの組織化を。

第2次赤磐市総合計画に「高齢ドライバーが安心して免許を返納できる環境を作り、自家用車に代わるものの在り方について検討を進める」とある。これの実行を。

答 利便性の高い交通体系の構築に向けては、福祉施策との連携にも留意しながら検討する。

問 山陽6丁目県営住宅の再開発は

答 多様な世代が循環するまちづくりのため条件を付けて事業者を募集する

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



治徳義明議員

で山陽団地の課題（オールドニュータウン問題）の特集番組が放映され大きな反響があった。その中で、先進事例として紹介された兵庫県の団地の取り組みは、3年前に制定された山陽団地の基本構想と方向性は同じだった。もっとスピーディーに実施すべきでは。

答 ①多様な世代が循環するまちづくりのために条件（共有スペースの設置、入居者の年齢制限等）を設けて事業者を公募する。②所有者の意向を確認して可能な範囲で協力を要する。③地区社協の設立や若い世代が地域の活性化に取り組み動きがある。これらを支援する。

問 かつてニュータウンと呼ばれた地域の発展を支え続けた山陽団地も約50年が経過して、高齢化、空洞化、社会資本の老朽化等、課題が山積みである。①山陽6丁目（県営住宅の再開発）の子育て・若者世帯の定住促進の取り組みは。②中心部商業圏エリアで民間事業者がテナントの募集を開始した

が。③団地サポーター制度の導入は。④空き家の有効活用を取り組みが重要と考えるが。⑤テレビ

意推進する。

コロナ対策について

問 新たな変異株が確認される中、第6波に備えるためにも、過去2回のワクチン接種の課題を踏まえ、3回目のワクチン接種の円滑な実施、接種率の向上等の取り組みが重要と考えるが。

答 集団接種、個別接種を併用して実施する。また、コールセンターの人員増を検討する。

問 アフターコロナの市独自の経済対策として「キャッシュレス決済キャンペーン」や「クーポン券の発行」等が効果があると考えるが。

答 財源確保も含め、必要な対策を検討する。



山陽団地

地域経済・雇用対策を やらないのか

確実に効果のあるものを 展開していく

個人質問の映像を
録画放映でご覧に
なれます。



松田 勲議員

問 国や県の支援策の隙間を埋める形、上乗せをする形での支援をしてきた。確実に効果の上がるものを市としても独自施策として展開していく。バスの無料化、これも有効であれば実施する方向も考えていきたい。

交通安全対策と道路網の整備について

答 中島交差点改良工事は、令和3年度内の完成。連合町内会から要望の桜が丘西1丁目の横断歩道への信号機については、交通状況から設置できないが、注意喚起に横断歩道付近に看板を設置している。桜が丘中央交差点の矢印信号機は、時間設定の変更など他の安全対策を検討し警察と協議している。熊山インターチェンジ入口交差点の左折専用レーンについては、警察や県と協議を行い、交通量や渋滞状況を見ながら、設置の必要性について検討していく。

問 岡山市では「路面電車・路線バス運賃無料デー」や「キャッシュレスサービス」など官民連携で需要喚起に独自施策をしている。赤磐市は独自施策をやらないのか。一生懸命頑張っている事業者にも、具体的な施策をするべきではないか。また、コロナ禍で雇用状況も大きく変わった。今こそ市内事業者にも積極的な求人協力をしていただくための施策をするべきではないか。

問 危険箇所整備は計画的に進んでいるのか。例えば、中島交差点付近の右折専用レーンの拡幅工事はいつ頃か。桜が丘西1丁目の信号機のない横断歩道、桜が丘中央交差点の東西方向の矢印信号の設置はどうか。熊山インター入口交差点に左折専用レーンを設置すべき時が来ていると考えるがどうか。



桜が丘西1丁目 信号機のない横断歩道

ふるさと納税の 最上位謝礼支出先と金額は

桃茂実苑へ1846万円

個人質問の映像を
録画放映でご覧に
なれます。



永徳省二議員

ふるさと納税について

問 再点検通知を各校に出した調査報告について①危険箇所は何箇所あったのか②どこか③対処方法は④対処済みの箇所は⑤対処未実施先はいつまでに対処するのか⑥通学時間帯の進入規制はしないのか⑦消えかけている横断歩道の再塗装はしないのか⑧他部署との情報共有はしないのか⑨高齢者へ危険箇所を通知したのか。

問 謝礼金1800万円以上が市長の奥様が社長の会社に渡ることに対し、公平公正な立場として問題がないのか。
答 市長の私が役員でもなく出資もしていない独立した事業者として経営されていることで、特に問題はない。

問 赤磐市の宝である子供たちの命を守るために誠実な答弁をお願いする。
答 ①26カ所②山陽地区7カ所、赤坂地区14カ所、熊山地区4カ所、吉井地区1カ所③市道の歩道拡幅、ガードレールの設置は、建設課。啓発看板の作成は、くらし安全課。各地区、学校での児童・生徒の交通安全指導は、

学校教育課で行う④対処済みの箇所は1カ所。他の箇所については各部署に持ち帰り対処方法を検討⑤各担当部署で点検箇所の状況や予算、条件等を精査し計画的に実施を検討⑥地区町内会からの要望により必要に応じて警察署に要望⑦気付いた場所や報告のあった場所について警察に連絡⑧交通安全プログラムの連絡協議へ学校教育課、くらし安全課も出席⑨交通安全ふれあい体験会等で啓発、老人クラブ連合会とも連携して交通安全講話等を行う。



小学生の通学風景

問 米価の下落に伴う 農家へ赤磐市の支援は

答 収入保険の保険料の一部を 助成している



大森進次議員

個人質問の映像を 録画放映でご覧に なれます。

ど様なリスクによる収入減少に備える収入保険の加入を促進し、保険料の一部を助成している。

問 収入保険は認識しているが、県内他市町では収入減少に対して補助金制度をとっている自治体もあるが、赤磐市としてどう考えているのか。また、後継者不足で耕作放棄地となっていく農地の活用はどう考えるのか。

答 他市が行っている助成制度が本場に正しいものなのか疑問がある。後継者不足からの離農、耕作放棄地に市の農業の特徴を生かした農業振興策に加えて、付加価値の高い農作物を生む農業で安定収入、所得向上を目指す。即効性はないかもしれないが持続可能な農業を目指す施策を展開したい。

問 米価の下落について市長の見解は。

答 直近3年では若干低下している状態ではある。今年の買い取り価格がどうなるか注視している。

問 米価の下落による収入の減少に対して、赤磐市として何らかの手立てや助成をする考えは。

答 9月議会定例会で承認された「赤磐市農業経営収入保険加入支援事業補助金」により、自然災害や農作物価格の下落な



桜が丘東5・6丁目県道交差点

問 桜が丘東5・6丁目の県道交差点の交通安全の確保について、以前から一般質問を行っているが、依然として交通事故が発生している。以前の答弁では「安全対策の検討をします」とあったが、検討結果、それを受けての対策などの進捗状況は。

答 右折レーンの設置など交差点改良工事の要望があるが、道路管理者の県、警察署と協議し、すぐの実施は難しいが、歩行者の安全確保のためのガードパイプ、ボラードの設置で調整ができ、今年度工事実施の計画である。

問 ドライブレコーダーを使った 安全運転講習は

答 1人でも多くの方が利用 いただけるよう、取り組む



大口浩志議員

個人質問の映像を 録画放映でご覧に なれます。

を埋める政策も考えていきたい。

蜂の被害対策について

問 今後の取り組みは。

答 市民からの問い合わせが急激に増えたことから、他市における取り組み・情報を収集し、現状に即した策を充実していきたい。

問 補助制度は考えられないか。

答 補助金制度の創設は住民意識の啓発の面でも意義があると考える。現状に即した補助金制度を研究していく。

交通安全について

問 コロナが収まってきて車の交通量が増えてきている。交通安全啓発は。今後の取り組みは。

答 コロナでできなかった



出番を待つ農業機械

た地域に向いての講座を再開したい。

問 今後の取り組みの中に、ドライブレコーダーを使った安全運転講習を赤磐署と共同で積極的に取り組めないか。

答 最大限利用していたくよう啓発に努める。

合併浄化槽について

問 今の補助制度は、その土地に対して出るので、世代が替わっても、所有者が代わっても、補助金は出ないが、アレンジはできないか。

答 いろいろな視点を踏まえ、研究していく。

問

移動期日前投票所の運行を
検討すべきでは

答

現在のところは
考えていないが、研究する

個人質問の映像を
録画放映でご覧に
なれます。



佐藤 武議員

し、投票所は5キロ圏内
で設置している。期日前
投票所は市役所及び各支
所の4カ所に対応し、一
定の利便性が図られてお
り、現在のところ考えて
いないが、研究する。

プラスチックごみ
対策について

問 永久に消滅しないプ
ラスチックは非常に厄介
なものだが、同時に便利
であるが故に一向に減ら
ない。こうしたプラス
チックごみ削減とリサイ
クル強化を目的に、資源
循環促進法が来春に施行
され、その取り組みが自
治体に求められる。一括
回収やリサイクル手法も
含め、市として今後どの
ように取り組んでいくの
か。

答 法施行に向けて国・
県・市町村で準備を進め



赤磐市環境センター

ている。収集や処理方法
において既存体制からの
移行や住民の皆さまへの
啓発など、労力を要する
難しい面が出てくる可能
性がある。自治会をはじめ
、市民や事業者の皆さま
のご理解ご協力が不可
欠であり、赤磐市の実情
に即した適正かつ効率的
な収集方法を検討してい
く。分別手法の検討に際
しては、廃棄物等の減量
推進審議会やリサイクル
推進委員会などで議論を
深めるとともに、市民皆
さまの利便性を最大限考
慮し、効果的な方法を構
築していく。

問

学校教育対策のその後は

答

情報共有会の準備を
進めている

個人質問の映像を
録画放映でご覧に
なれます。



金谷文則議員

があり、情報共有会の実
施を行う方向で準備をし
ている。スピード感を
持つて存続を含め統合す
ることになった場合の小
学校の在り方について情
報を集め、検討していく。

荒廃した施設の現
況対策について

問 老朽化した農業用施
設の現況を見て対策が必
要と思うが、市としての
考え方はどうか。

答 利用を終えた後、な
ぜ解体されずに残ってい
るか尋ねると、解体処分
費にコストがかかり手が
付けられないとのこと。
市として直接対応できる
施策はないが、農業振興、
農地保全から耕作放棄地
と同様に農地の有効活用
を図っていく必要がある
と考える。

問 住宅関係でもつづす



荒廃した農業用施設

のに補助金がある。この
場合でも変わりがないと
思うので、ぜひそういう
施設にも行政の手が届く
ような施策を考えてほし
いかどうか。
答 農地の有効利用を図
る観点からもハウスの除
却は必要だと考える。今
制度はないが、そういう
事の数の把握を含め、研
究検討を進めたい。

問 交通マナーの良い街
No1を目指すべきではな
いか。
答 悲惨な事故をなく
し、良い街No1を目指し
たい。

問 コロナ対策で 市独自の支援を
答 最も有効な施策を 展開したい

個人質問の映像を 録画放映でご覧に なれます。



福木京子議員

山陽団地の活性化 対策を

問 テレビ報道で山陽の大規模団地が特集されていた。今思い切った施策をしないと取り返しがつかなくなるとのこと。中心部のショッピング施設がなくなつて18年になる。市長も今年の3月の選挙で公約をしている。3年前には連合町内会から要望書も出ている。県営住宅、中心地の問題の解決の見通しを示すべきだ。

答 今使われてない県営住宅の一部を岡山県から購入し、公営住宅でなく若者移住・定住に向けた方向で住宅整備を行っている。研究に時間を要したが様々な取り組みを行ってきた。県営住宅は就いてきた。県営住宅は岡山県の管理が最良と判

問 コロナ対策は、国や県の施策を待つまでもなく、近隣自治体はいち早く施策を行っている。赤磐市独自の施策をすべきだ。事業者への経済支援や子育て応援給付金の継続など一部支援はしているが、もっと多くの市民への施策をすべきだ。

答 市民の生活に安心をお届けする支援は十分ではないので、施策を練っている。最も有効な施策を展開したい。

断した。活性化の一つに近くに職場があることが重要と考えている。

山陽ふれあい公園内のちびっこ広場の整備を

問 この広場は多くの親子や幼稚園から学校関係まで大いに利用している。年数が経ち遊具は剥げたり壊れたりしている。トイレの洋式化増の要望もある。早急に整備すべきだ。

答 休日には多くの親子連れでにぎわっている状況を踏まえ、指定管理者とも協議を進めながら施設の充実に取り組む。



山陽ふれあい公園内ちびっこ広場

問 子育て環境の確保はどうか
答 過疎地域においても 比較検討したい

個人質問の映像を 録画放映でご覧に なれます。



下山哲司議員

過疎地域の中の子 育て環境の確保は どう考えるか

問 高校生医療費1割負担を過疎対策事業で、吉井・赤坂は無料にしてはどうか。

答 医療提供体制の一つとして、今後状況を見ながら取り組みたい。皆さんの思いも承って、我々も実現を目指して努力していく。

問 保育園、幼稚園の運営内容は。

答 近年保育園、認定こども園の入園希望者が増加して、途中入園の場合などには待機の問題も出てくる中で、不平等になっている。来年度からは、市が責任を持って入園者の利用調整を行っていく。保育園を希望する各家庭の必要性を点数化する作業を行っている。点数の高い方から順次利用決定をし、市が責任を持って入園決定を図っていく。

問 教育委員会を厚生委員会へ所管替えしたメリットは。

答 保健福祉部局が取り組む就学前保育と、教育委員会が取り組む就学前教育とは若干違うが、二つの部局が一つの常任委員会に属することで、子供たちに対する施策などが総合的に議論できる環

境が整ったと認識している。今後も子ども子育て施策の取り組みに対して、議会と執行部の両輪で議論を深め、効果的に支援化制度など充実させたい。



赤磐市立仁美保育園

収入保険は今年の低米価に間に合わないが

指摘のとおりだ

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



鼻岡美保議員

いくので、公設による充電器の設置は考えていない。

市民に等しく恩恵がある施策を

再度の上水道料金の基本料金減免の考えは。

季節的に水道料金より有効と考えられる施策を考えている。例えば消費を喚起する施策、あるいは市民生活に密着したものは、有効な施策はどれか考えたい。

観光計画は重点地区を絞って、熊山地域の文化と観光ゾーン構想、山陽地域の古墳を生かしたコース整備など、構想は。

赤磐市では食、歴史、文化、スポーツ・レクリエーション施設、自然な

文化と観光について

観光計画は重点地区を絞って、熊山地域の文化と観光ゾーン構想、山陽地域の古墳を生かしたコース整備など、構想は。

赤磐市では食、歴史、文化、スポーツ・レクリエーション施設、自然な

赤磐市では食、歴史、文化、スポーツ・レクリエーション施設、自然な

各国で電気自動車の開発や、実用化が進んでいるが、赤磐市の充電器の設置状況はどうか。

赤磐市は2基の充電器を保有している。

広い赤磐市内で、これでは間に合わないのではないか。

E V車の普及は今後見込まれると認識している。しかし、市場原理の中で充電設備が普及して

ど特色ある観光資源の掘り起こし、市内周遊の観光ルート開発など、取り組んでいる。観光客の受け入れ環境整備や情報発信も重要。コロナで激減している観光客を呼び戻すことは喫緊の課題だ。外国人観光客誘致へ日本航空と協定を結び、連携して取り組む。

収入保険は今年の低米価対策に間に合わないのでは。

国の施策で補助制度が出たら速やかに実施する。近隣自治体の動向を注視したい。保険が今年の米価対策に間に合わないのは事実。



熊山駅前の観光案内看板

現在までの市債発行額の推移は

減少傾向の推移となっている

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



佐々木雄司議員

億9774万円、令和元年度が350億9953万円、平成30年度が361億181万円、平成29年度が360億7654万円、平成28年度が373億2941万円ということで、5年間は減少傾向の推移となっている。

令和元年度が93.8%だったものが、1年たったら90.9%ということなので劇的に改善している。その要因は何か。

これはコロナによって事業ができなかったことと、コロナ関係での交付金が入り、財源が増えたことが要因として考えられる。

市債発行額減少について、財政観念を持ち、市長以下、予算削減に取り組んできた結果がこの数字に表れているのだと思う。私もこの間ずっと財

政、財政と言いつつ、さく市債発行額の抑制を求めてきたかと思う。非常にうれしく思う。これを踏まえて今後、どのような行政改革を進めるのか。

業務効率を上げるために民間活力をも活用することが大変重要である。民間の持つ専門知識を効率的に市民サービスの充実に取り入れ、人件費の削減効果も目指すことができるものと考えている。簡素で効率的な行政運営の実現を目指すとともに、効率の高い良質な市民サービスを提供するために職員の人材開発、組織開発などもさらに力を注いでいきたい。

令和2年度が341

直近5年の経常収支比率は。

令和2年度が90.9%、令和元年度が93.8%、平成30年度が92.0%、平成29年度が92.2%、平成28年度が91.4%で、この5年間90%台の前半を推移している。

直近5年の市債現在高総額は。

令和2年度が341

直近5年の市債現在高総額は。

令和2年度が341



赤磐市役所

12月定例会のあいま

議員のいっしょ

いっぽん質問

その他協議会等

問 赤磐市の教育施設の遊具について

答 安全管理を徹底して行う

個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。



保田 守議員

体制等の安全管理を徹底するよう通知があり、各幼稚園・小中学校にも通知している。見守り体制についても、より一層徹底していく。

松くい虫駆除の空中散布を中止すべきでは

問 先般、岡山市の教育施設で事故があり、園児が亡くなるということがあった。岡山市は保育施設の一斉点検を始めたとのこと。赤磐市ではどのような対策を考えているのか。

答 市内の幼稚園また小中学校においては、定期的な安全点検を実施しているところであるが、このたびの事故を受けて、令和3年10月15日付で岡山県より、遊具等の点検および使い方、見守りの

問 地域の要望で行っているとのことだが、この地域か。空中散布に反対する700余名の請願書が出された。人体に有害であるので中止を求めるといふものである。赤磐市として今後の方針を示すべきだ。市民の健康被害はないのか。強い薬剤を使うので、それが土壌に蓄積して残留する可能性があるのではないのか。土壌・池の水・動植物を調査し、市民に説明する必要がある。

答 要望が出ている地域は現在散布している地域である。野菜に関しては残留農薬の基準があるが、松林については基準がない。薬剤が動物や野菜に飛散した場合の影響は否定できない。実施に当たっては、河川や散布区域外への飛散がないように慎重にしている。現在、空中散布以外の方法も併用し実施している。県や関係地区の意見を伺いながら、事業の実施場所に応じた適切な方法で実施していく。



赤磐市立山陽小学校の遊具

問 ふるさと納税の謝礼金トップは桃茂実苑

答 農産品の出品を増やすように呼び掛ける

個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。



原田素代議員

を関係者に呼び掛ける。問 出品リストの半分以上が農産品。にもかかわらずダントツは桃茂実苑への謝礼金で、そこに問題がある。

問 市の事業であるふるさと納税の令和2年度の謝礼金上位は以下のとおり。4位800万円（み

答 私が地位を利用して問題ない。農産品の出品

答 地位を利用すること

市長は「桃茂実苑は独立した事業所として経営されているから問題ない」と言われたが、妻の



赤磐市ふるさと納税パンフレット抜粋

名義で経営されているのに、問題ないと思う人はいない。親族の経営によって、高値で売り抜けている事実は倫理違反だ。答 農協の買い取り価格とひどく変わらない取引だ。

問 金額は担当者に確認したものであり、個々の事業所で違いはあるが間違っているという認識はない。桃茂実苑への謝礼金がダントツの1800万円は、コンプライアンス条例の理念に照らして市長はどう考えるか。

答 地位を利用することは一切ない。換算した数字での説明だが、適切な比較ができていないのではないかと申し添える。

問 公共施設のトイレ洋式化は どうしていくのか

答 水洗化されていない場所は 早急に検討していく

個人質問の映像を
録画放映でご覧に
なれます。



牛尾直人議員

問 現在の施設の洋式化率は。
答 市役所、支所は33.3%、避難所として活用する施設は68.4%、公民館などは38.2%の洋式化率となっている。
問 西山グラウンドなどの屋外施設の多くは和式トイレのみの場所が多いが、今後の改修の予定はあるのか。
答 修繕が必要な時期、設備の更新時期など適切な修繕を実施しながら、必要に合わせて洋式化を

行っているところである。
問 高齢者など冬場の屋外トイレは危険である。赤坂ファミリー公園においては水洗トイレではない。衛生面、安全面でもせめて水洗でないトイレは最優先で、まずは水洗にするべきでは。
答 いまだに水洗化されていないところは早急に検討を進めていきたい。
問 今後も子供たちが増えてくる地区に公園整備はしていくのか。
答 ニーズが高いことは認識しているが、すぐに新設は難しい面がある。現在、下市地区門前浄化センター跡地の一部を公園整備している。

問 多くの公園が地区負担で維持管理をしている。法令点検や日々の維持管理が負担となり、遊具を撤去している公園が



西山グラウンド外部トイレ

多くあるがどうしていくのか。
答 一過性の要望ではなく、後々を十分に考えた議論が必要である。施設の維持管理に際しては、当面は現行通りコミュニティ助成金で支援していきたい。
問 地区任せでなく行政からの支援は今まで以上に必要である。夕方に3世代で交流できる安心安全な市民公園が必要だと思ふが。
答 維持管理については市民協働の意識が必要不可欠。住人・地域・行政それぞれの役割を認識し、これらを研究したい。

赤磐市議会議員研修会（オンライン）を実施しました

開催日

令和4年1月19日

場 所

赤磐市役所 3階協議会室

演 題

一般質問、質疑について

講 師

自治体議会研究所代表 高沖 秀宣 氏

所 感

再び新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されているため、オンラインで議員研修会を開催しました。

元三重県庁職員で自治体議会研究所代表の高沖秀宣氏を講師にお迎えして「一般質問、質疑について」を演題として講義いただきました。

一般質問では、質問の質の向上が政策能力の向上につながり、ひいては議会力の向上につながる。

そのためには質問をする前に、十分な調査研究をするべきであると教授いただきました。

本会議の質疑では、会議に付議された事案に従属してされるものであり、同一議題に対して3回という制限があるため、当事者がいかに要領よく質疑し答弁するかという事が重要であると教授いただきました。

今回の研修を受け、あらためて初心に戻り、次回からの議会定例会等に臨みたいと思います。



新年のごあいさつ

議長 実盛 祥五



明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は赤磐市議会にご理解と、ご協力をいただき誠にありがとうございました。

さて、一昨年から新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、赤磐市のみならず日本全体に自粛の波が押し寄せ、生活に制限が加わるという不自由な生活となりました。その後、ワクチン接種率の上昇など収束に向けて動き出しており、2月より3回目のワクチン接種が始まることとなり、一日も早く平常の生活に戻れることを願っております。

昨年は市議会議員選挙があり、3人の新人議員が誕生しました。議員一同、任期4年を市

民の負託にお応えできるよう、また、赤磐市発展のために努めてきた一年でしたがまだまだ道途中で、もっと市民の皆さまの負託にお応えできるよう努めてまいります。

赤磐市議会では、議会改革に取り組んできましたが、昨年は新たに予算審査方法の変更や、ICT推進に向けて議会へのタブレット端末の導入などを進めており、さらなる議会改革に取り組んでまいります。

市民の皆さまに開かれたわかりやすい議会となるよう改革を進め、信頼される、応援していただける議会となるために、全議員襟を正し議員活動を進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症は変異型が確認されるなど、まだまだ息がつけるようにはなりません。市民の皆さまとともにこの難事に立ち向かい、この一年が市民の皆さまにとって素晴らしい年となりますよう祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

議会全員協議会

10月20日

主な協議・報告事項

- ・ 予算の審査方法について

11月19日

主な協議・報告事項

- ・ 令和3年12月第6回赤磐市議会定例会について
- ・ 予算審査特別委員会について
- ・ 市役所本庁舎等整備事業について

12月17日

主な協議・報告事項

- ・ 日程追加について
- ・ 赤磐市議会会議規則の一部改正について

表紙写真を大募集!

大募集!

自慢の写真で赤磐市議会だよりの表紙を飾ってみませんか？

赤磐市内で撮影された未発表の写真であればOKです。

- 例・風景・イベント・ペット・子供など

詳しくはHPをご確認ください。



<https://www.city.akaiwa.lg.jp/shisei/gikai/dayori/3239.html>



編集後記

新しい年を迎え、改めて見やすい・読みやすい広報誌になるよう思いを新たにしているところです。

昨年の秋口には、コロナが終息に向かっていっているのでは、と思わずにはいられませんでした。新しい変異株が大きな広がりを見せています。コロナによって今までの当たり前が、大変貴重なものだったと痛感しています。コロナとの付き合いもはや2年がたとうとしています。この2年で身に付けた行動様式、変えるべきは変え、守るべきは守り、の考えで令和4年も努力していきたいと思っております。

広報広聴委員(広報部会)

- ・ 部長 光成 良充
- ・ 副会長 鼻岡 美保
- ・ 委員 治徳 義明
- ・ 委員 大口 浩志
- ・ 委員 永徳 省二
- ・ 委員 安藤 利博